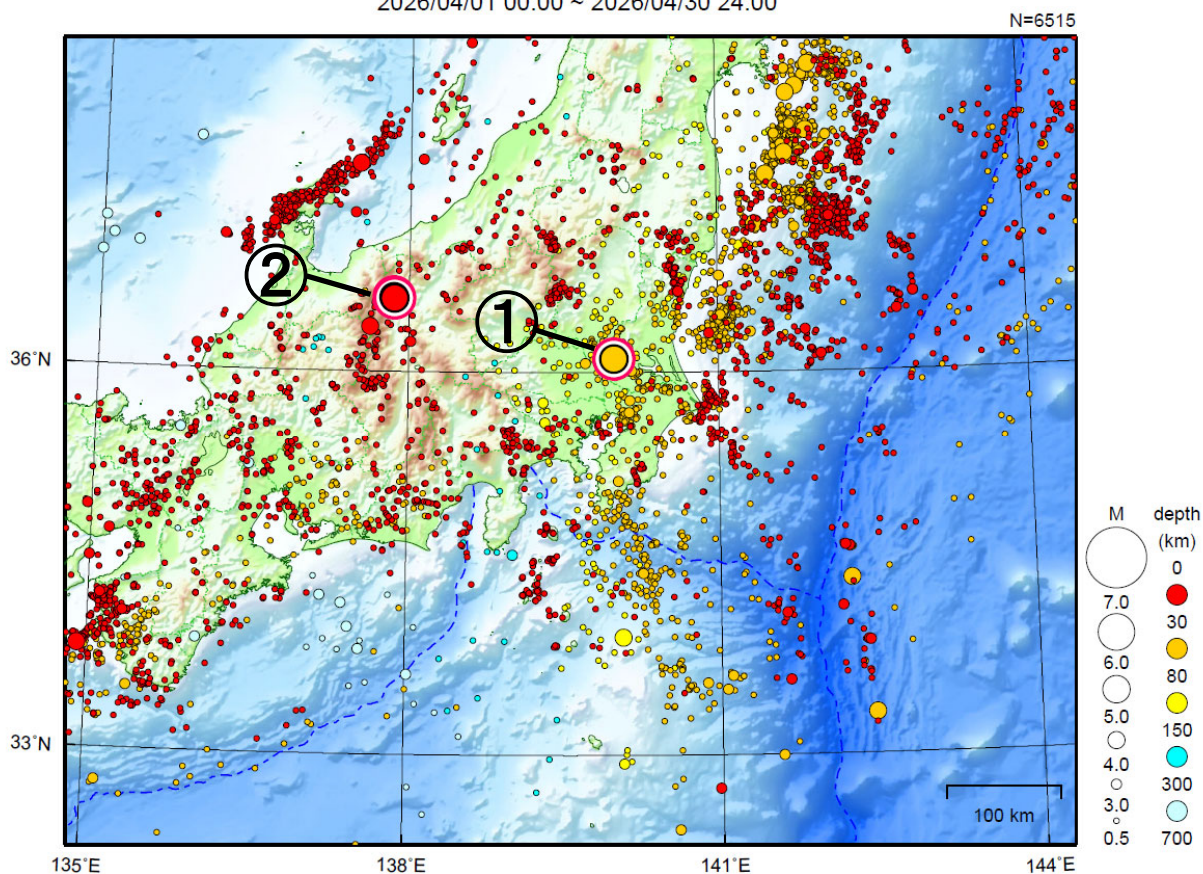


# 関東・中部地方

2026/04/01 00:00 ~ 2026/04/30 24:00



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030 及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

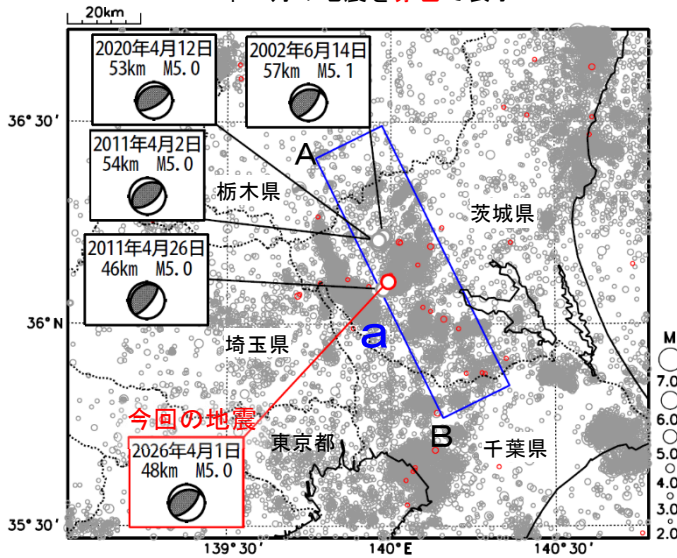
- ① 4月1日に茨城県南部で M5.0 の地震（最大震度 5 弱）が発生した。
- ② 長野県北部では4月18日 13時20分に M5.0 の地震（最大震度 5 強）、同日 14時54分に M5.1 の地震（最大震度 5 弱）が発生した。4月中に震度 1 以上を観測する地震が 37 回（震度 5 強：1回、震度 5 弱：1回、震度 3：7回、震度 2：6回、震度 1：22回）発生した。

[上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

気象庁・文部科学省

# 4月1日 茨城県南部の地震

震央分布図  
(1997年10月1日～2026年4月30日、  
深さ0～120km、 $M \geq 2.0$ )  
2026年4月の地震を赤色で表示

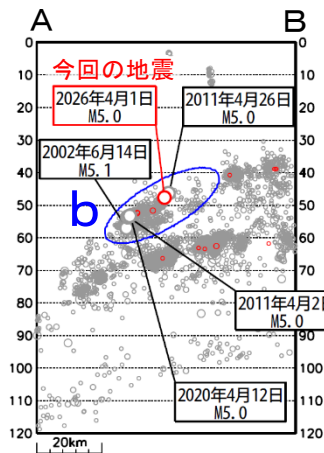


2026年4月1日10時06分に茨城県南部の深さ48kmで $M 5.0$ の地震(最大震度5弱)が発生した。この地震は、発震機構が北西—南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した。

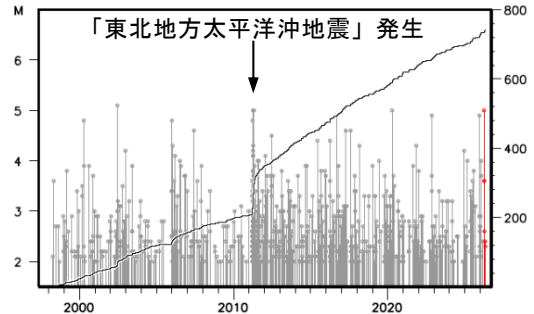
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)は $M 5$ 程度の地震が時々発生していた。2002年6月14日に $M 5.1$ の地震(最大震度4)が発生し、負傷者1人などの被害が生じた(被害は「日本被害地震総覧」による)。「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」(以下、「東北地方太平洋沖地震」)発生以降、より活発になり $M 5.0$ 以上の地震がしばしば発生している。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、 $M 6.0$ 以上の地震が時々発生している。1921年12月8日には $M 6.8$ (最大震度4)の地震が発生した。

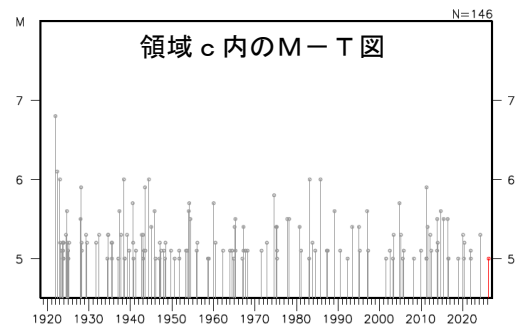
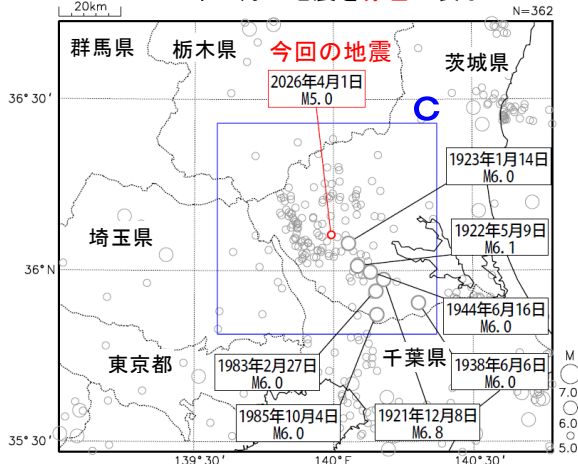
領域a内の断面図 (A—B投影)



領域b内のM—T図及び回数積算図



震央分布図  
(1919年1月1日～2026年4月30日、  
深さ0～120km、 $M \geq 5.0$ )  
2026年4月の地震を赤色で表示

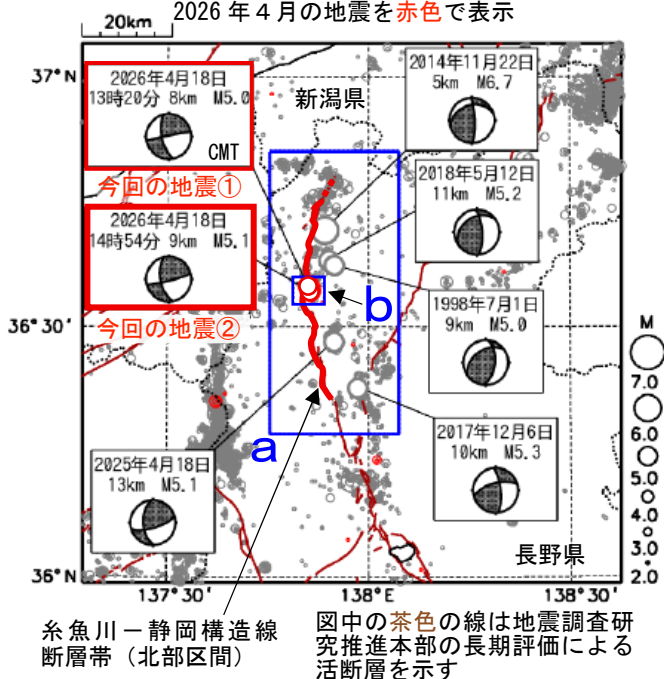


# 4月18日 長野県北部の地震

震央分布図

(1997年10月1日～2026年4月30日、  
深さ0～20km、 $M \geq 2.0$ )

2026年4月の地震を赤色で表示



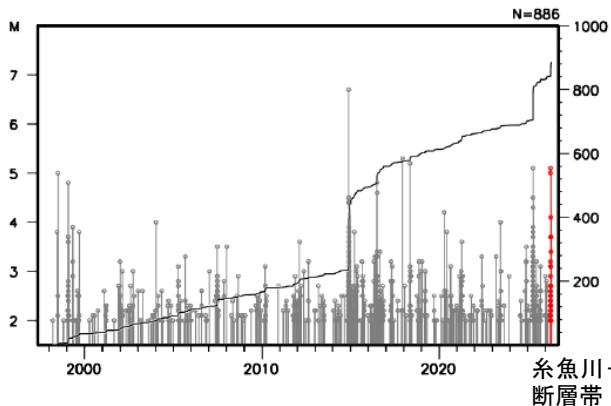
2026年4月18日13時20分に長野県北部の深さ8kmで $M5.0$ の地震(①、最大震度5強)が発生した。また、同日14時54分にも、長野県北部の深さ9kmで $M5.1$ の地震(②、最大震度5弱)が発生した。これらの地震は地殻内で発生した。これらの地震の発震機構は、北西-南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。

今回の地震の震央付近(領域b)では、4月中に震度1以上を観測した地震が37回(震度5強:1回、震度5弱:1回、震度3:7回、震度2:6回、震度1:22回)発生した。また、これらの地震により住家一部破損104棟の被害が生じた(被害は総務省消防庁による)。

1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域a)では $M5.0$ 以上の地震が時々発生している。2014年11月22日には $M6.7$ の地震(最大震度6弱)が発生し、負傷者46人などの被害が生じた(被害は総務省消防庁による)。

1885年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、 $M5.0$ 以上の地震が時々発生している。このうち、1918年11月11日には $M6.1$ と $M6.5$ の地震が発生し、家屋全倒6棟などの被害が生じた(被害は「日本被害地震総覧」による)。

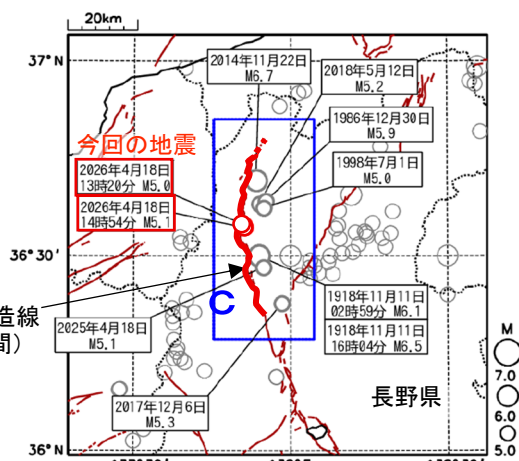
領域a内のM-T図及び回数積算図



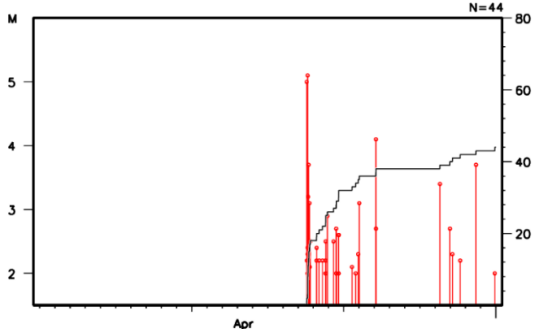
震央分布図

(1885年1月1日～2026年4月30日、  
深さ0～50km、 $M \geq 5.0$ )

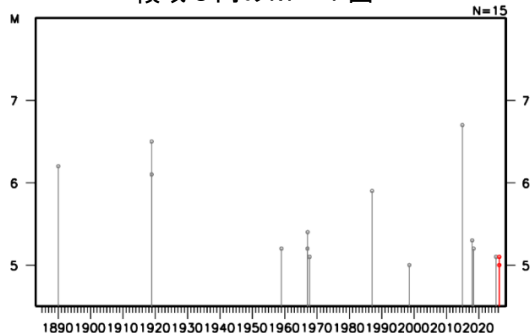
2026年4月の地震を赤色で表示



領域b内のM-T図及び回数積算図  
(2026年4月1日～30日、 $M \geq 2.0$ )



領域c内のM-T図



気象庁作成

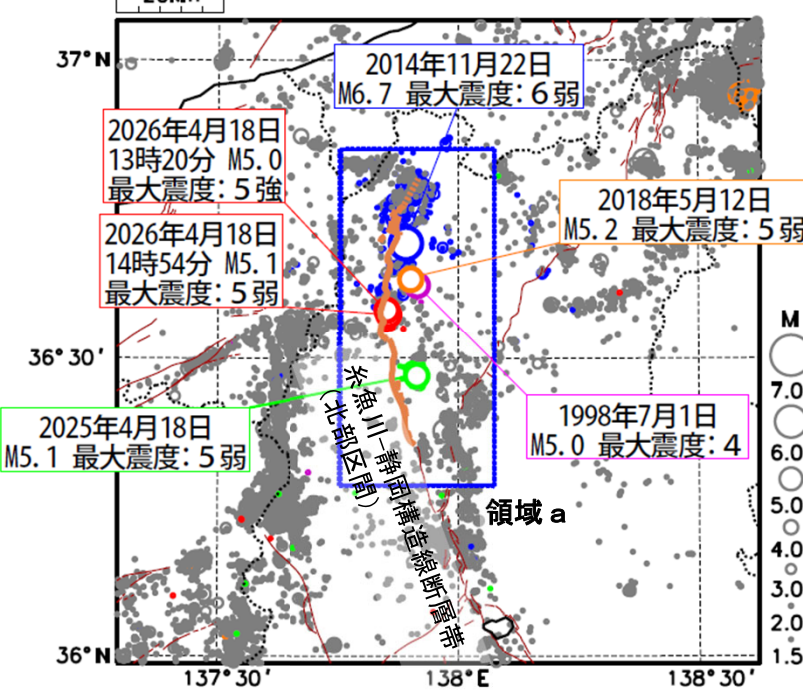
# 長野県北部の地震活動比較（30日間）

（過去の活動状況との比較、M1.5以上、30日間）

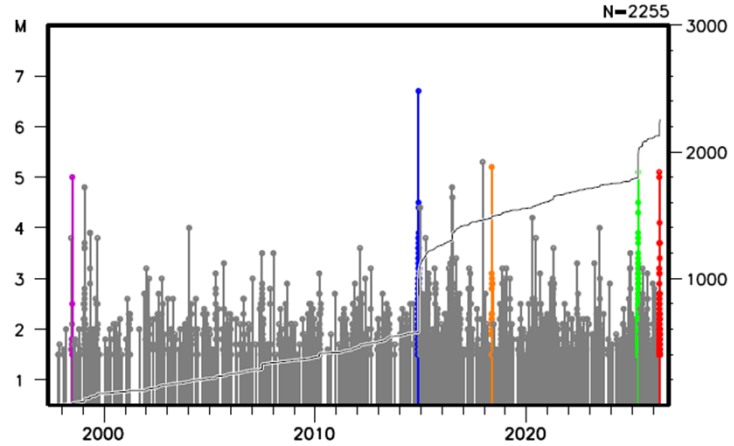
震央分布図

1997年10月1日～2026年4月30日

深さ0～20km、M $\geq$ 1.5



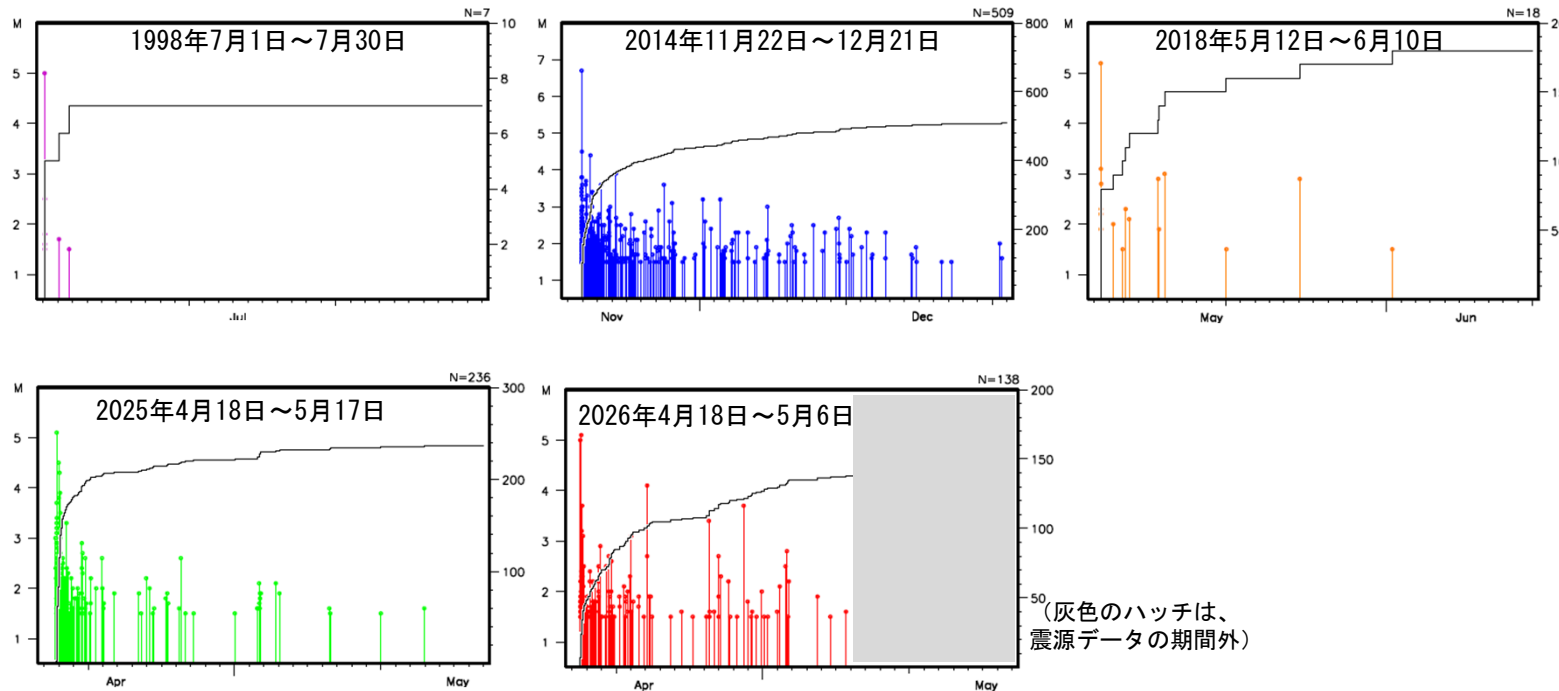
領域 a 内の地震活動経過図及び回数積算図



図中の茶色の線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す

- 1998年7月1日～7月30日：紫色
- 2014年11月22日～12月21日：青色
- 2018年5月12日～6月10日：橙色
- 2025年4月18日～5月17日：緑色
- 2026年4月18日～4月30日：赤色
- 上記期間以外：灰色

領域 a 内の期間別（各30日間）の地震活動経過図及び回数積算図



（灰色のハッチは、震源データの期間外）